

会 議 記 録					
会 議 の 名 称		広報広聴会議		会議場所	第3委員会室
				担当職員	鈴木 智
日 時	平成29年5月29日(月曜日)		開 議	午後	2時 40 分
			閉 議	午後	2時 55 分
出席委員	◎山本 ○小川(広聴部会長) ○平本(広報部会長) 三上 富谷 奥村 奥野 齊藤 石野				
事務局 出席者	山内次長、船越副課長、鈴木議事調査係長、山末主事				
傍聴	可	市民0名	報道関係者 0名		議員 0名()

会 議 の 概 要

1 4 : 4 0

[山本委員長 開議]

1 広報部会活動

(1) 議会だより

○No.1 7 3の編集

[平本副委員長 説明]

- ・議会だよりNo.1 7 3は、7月31日発行、8月1日全戸配布予定である。
- ・本日から広報部会で編集作業を進め、7月下旬には広聴部会委員にもゲラ版で確認いただくこととなる。

<平本副委員長>

No.1 7 3の表紙や特集ページについて、また、前号について意見をいただきたい。
(なし)

<平本副委員長>

今後、意見があるようであれば、広報部会に伝えていただきたい。

<齊藤委員>

政務活動費について、わかりやすく掲載してはどうか。

<平本副委員長>

広報部会で検討する。

2 広聴部会活動

(1) 議会報告会(4/23開催)に係る意見、要望等について

<小川副委員長>

議会報告会での意見の振り分けはこれでよいか。

<齊藤委員>

No.4は、環境保全専門家会議で了承されている内容であるので、項目から外してはどうか。

<山本委員長>

議会報告会での意見は、所管する委員会に必ず申し送らなければならないという取り決めはあるか。

<議事調査係長>

詳細までの取り決めはない。広報広聴会議が議会報告会を所管するので、この場で対応を検討いただくこととなる。

<齊藤委員>

この件については、聞き置く程度としてはどうか。

<三上委員>

出された意見であるので、記録として残し、所管で取り扱うようにしてはどうか。

<平本委員>

広報広聴会議で結論を出すのではなく、所管の委員会で判断してはどうか。

<奥村委員>

意見として残しておき、所管の委員会に送付しないでもよいのではないか。

<齊藤委員>

所管の委員会に送る必要はないのではないか。

<奥野委員>

意見があったことは記述しておき、専門家会議で了承されているので、所管の委員会へ送る必要はないと考える。

<石野委員>

意見があったことは記述しておき、京都スタジアム（仮）検討特別委員会へ送る必要はないと考える。

<富谷委員>

記録として残す必要がある。所管に送ればよいと考える。

<三上委員>

議会報告会の当日に、当日の回答内容の確認も含めて、京都スタジアム（仮称）検討特別委員会に送付しなければならない。そこで、記述も含めて確認してはどうか。

<山本委員長>

議会報告会の内容をそのまま所管の委員会に送付し、そこで判断してはどうかと考える。この扱いでよい。

—全員了—

<山本委員長>

それでは、このまま所管の委員会に送ることとする。

（２）わがまちトークについて

①自治会版について

- ・畑野町と千代川町から、わがまちトーク開催の要望があった。
- ・畑野町は１１月に開催することで調整し、決定すれば広報広聴会議に報告する。
- ・千代川町は２月３日（土）２０時から開催予定としている。詳細は今後報告する。

②各種団体版（ＮＰＯ含む）について

- ・各種団体からの要望は現在のところないが、広聴部会では、今年の成人式の実行委員会との意見交換を実施したいと考えていることを提案した。

<奥村委員>

商店街連盟から議員と意見交換したいとの申し出がある。

<山本委員長>

各種団体版として申し込んでいただくようにしていただきたい。

<齊藤委員>

わがまちトークは、2つの自治会からのみの応募となっている。自治会がわがまちトークを望んでいないのではないか。わがまちトークそのものをどうしていくかを検討すべきである。議員は開かれた議会を目指しているが、住民の思いとはミスマッチしている。

<山本委員長>

わがまちトークのあり方について、今後検討していきたい。

3 その他

(なし)

散会 14:55